

日工株式会社

# 第144期報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日



# NIKKOグループ

(平成19年3月31日現在)

## 当社の概況

商号英文名	NIKKO CO.,LTD.
設立年月日	大正8年(1919年)8月13日
資本金	9,197,607,798円
主要な営業内容	アスファルトプラント、コンクリートプラント、各種IT製品、リサイクルプラント等環境関連製品、各種コンベヤ等の製造・販売
従業員数	523名（グループ合計 751名）
インターネットホームページ	<a href="http://www.nikko-net.co.jp">http://www.nikko-net.co.jp</a>

## 連結子会社

会社名	主な事業内容
日工電子工業株式会社	電子機器の製造・販売
日工マシナリ一株式会社	土木建設機械、水門の製造・販売
トンボ工業株式会社	ショベル等土農工具類、ミキサの製造・販売
日工セック株式会社	仮設機材類の製造・販売・レンタル
日工ダイヤクリート株式会社	コンクリートポンプ等建設機械類の製造・販売
日工興産株式会社	損害保険代理店業、不動産の仲介・売買
日工(上海)工程机械有限公司	アスファルトプラント等建設機械類の製造・販売
日工(タイランド)株式会社	アスファルトプラント等建設機械類の販売
ニッコーバウマシーン有限公司	建設機械類の輸出入、建設機械類に関する市場調査

## 当社グループの経営戦略の骨子

### コンセプト



# 株主のみなさまへ

「お客様第一主義」の理念のもと、  
お客様と共に発展する“ソリューションパートナー”  
を目指します。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、当社第144期（平成18年4月1日から  
平成19年3月31日まで）の事業の概況と  
決算についてご報告申しあげます。



当社グループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、お客様に真に満足していただける製品とサービスを、社員の主体性・創造性・チャレンジ精神を尊重した企業活動を通じて提供することを基本方針としています。

より厳しくなる企業間競争、変化する価値観、急速なグローバル化など激変する経済環境のなかで、広く社会から信頼され、お客様と共に発展する“ソリューションパートナー”となることを使命に、自己変革してまいります。そのために、既存事業の基盤強化、海外事業の拡大、新製品の開発、新規事業開発による事業構造改革、人材の育成を中長期的な重要経営課題とし、高い企業価値と強い収益力を備えたグローバル企業に変質していきたいと考えております。

今後も、経営環境は厳しいものと思われますが、企業体質の強化等に努めグループの一層の発展をめざす決意でございますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

# 当期の概況

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

## 事業の経過及びその成果

当連結事業年度のわが国経済は、米国の景気減速懸念、個人消費の伸び悩み、短期金利の上昇、金属製品価格及び原油価格の高止まり等の要因はありましたが、全般に企業収益は堅調を維持し、緩やかではありますですが回復基調が続きました。

当社グループに關係の深い建設関連業界は、民間設備投資による建設需要は堅調に推移しましたものの、公共工事、特に道路事業投資の減少及び原油価格の高止まりによる原材料調達コストの上昇等が道路建設業界に悪影響を及ぼし、非常に厳しい経営環境が続きました。

このように、国内の建設機械需要の減少が続くなかったため、当社グループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、新製品の開発、海外販路の拡大、新規事業開発による事業構造改革等、経営課題の解決に努めました。国内では、高い技術力を背景に省燃費バーナー、新型ガスバーナー等、原油価格高騰に対応した製品の販売に努め、海外では、中国子会社による中国市場の拡販推進とともに、タイに販売子会社を設立し、ASEAN市場に対する販売拠点作りを行ないました。一方、平成18年4月には事業構造改革推進のための事業開発本部を設置し、新規事業の開拓や新分野の装置類の受注獲得に取り組み、平成18年10月には新規事業展開並びに高精密加工技術導入のため三菱重工業株式会社よりコンクリートポンプ等の事業を譲り受けました。

こうした事業活動の結果としての当社グループの連結経営成績は以下のとおりであります。

売上高につきましては、アスファルトプラントの売上高が国内及び中国子会社ともに増加し、10月より営業を開始しましたコンクリートポンプ事業の売上高も加わり、前期比12.9%増の250億35百万円となりました。

損益面につきましては、上半期はアスファルトプラントの需要が回復し、比較的堅調に推移いたしましたものの、下半期は全体的に仕事量が減少し、更に中古プラント移設工事及び大型コンベヤの一部不採算物件等がありました。連結営業利益は、2億71百万円と改善いたしました。また、連結経常利益は、金利上昇や為替差益の増加に支えられ、前期比99.5%増の6億99百万円となり、特別利益として、投資有価証券売却益を計上しましたことにより、連結当期純利益は、前期比55.3%増の3億15百万円となりました。

なお、部門別の概況は以下のとおりであります。



中国で稼動中の日工上海製アスファルトプラント  
「NBD-320」

連結部門別売上高（対前期比較）  
(単位：百万円、%)

		建設機械 関連	環境及び 産業機械 他関連	合計
当期	売上高	18,166	6,868	25,035
	構成比	72.6	27.4	100
前期	売上高	15,126	7,049	22,175
	構成比	68.2	31.8	100

## 建設機械事業部門

アスファルトプラントにつきましては、国内は、上半期において大手道路会社を中心にプラント建設工事及び改修工事等の需要が大幅に回復いたしましたが、下半期は、プラント建設工事の需要は前期と同様に減少いたしました。しかしながら、メンテナンス工事が引き続き順調に推移いたしましたため、売上高は、前期比23.6%増加いたしました。一方海外は、中国市場での旺盛なプラント需要が続いており、現地子会社の生産が順調に推移し、当該子会社の売上高は増加いたしましたが、輸出が減少いたしました結果、売上高は前期比5.0%減少いたしました。

コンクリートプラントにつきましては、民間設備投資が回復基調にあるなか、高性能コンクリート対応プラント、ミキサ及び新型操作盤の拡販等に努め、またアルジェリア向に小型コンクリートプラントの輸出等もありました結果、売上高は前期比6.8%増加いたしました。

コンクリートポンプ製品につきましては、平成18年10月1日より営業を開始し、排ガス規制強化及び老朽化によるポンプ車の更新需要等もあり、販売は堅調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は、前期比20.1%増の181億66百万円となりました。

## 環境及び産業機械他関連事業部門

環境製品につきましては、プラスチックリサイクルプラント、排水浄化設備等の販売に加えて、缶ビン選別機等の販売が堅調に推移いたしました結果、売上高は前期比7.0%増加いたしました。

コンベヤ製品につきましては、民間工場設備向の「スーパー モジュラーコンベヤ」、産業廃棄物搬送用等の大型コンベヤのいずれもが低迷し、売上高は前期比22.1%減少いたしました。

仮設機材製品につきましては、民間設備投資が堅調に推移するとともに、仮設足場用安全機材、アルミ製品が好調に推移し、レンタルリース事業の拡大に努め、また、下半期には既存製品の売上も回復したことにより、売上高は前期比7.8%増加いたしました。



三重県で稼動中のコンクリートプラント  
「D A S H - 1 7 5 E v o」



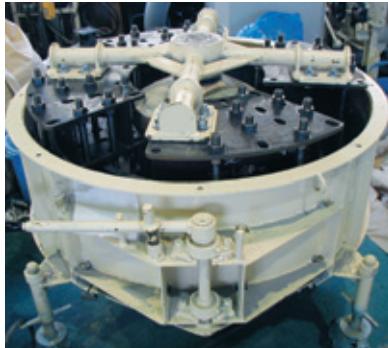
新開発 コンパクト  
コンクリートプラント操作盤  
「コマンド・タッチ・ピー」

ショベル等土農工具製品につきましては、ホームセンターに対する販路拡大等に努めましたが、暖冬によるショベル需要の減少等が影響し、売上高は前期比8.5%減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は、前期比2.6%減の68億68百万円となりました。



骨材加熱技術を応用した  
「消石灰スラリー製造装置」



新開発 すりもみ式  
「コンクリート・再生骨材製造装置」



缶ビン選別機  
「リサイクル4」

### 通期業績の見通し

当社グループの事業領域であります建設関連分野は、国内での公共投資の増加は見込めず、引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。他方、海外では、中国、東南アジア、インド、極東ロシア等の地域においてインフラ整備需要が今後数年にわたって増加していくことが予想されます。

この様な環境下、業績伸展を図る為には、何よりも『顧客満足度の高い製品、サービスの提供』、『海外事業の拡大』、『新規事業開発による事業構造改革』、『コスト削減による競争力・収益力の強化』が不可欠と考えております。当社グループは、グループの総力を結集し企業価値の増大と収益増強を図ってまいります。

通期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高260億円、連結営業利益3億円、連結経常利益5億40百万円、連結当期純利益3億20百万円を達成したいと考えております。

# トピックス

## 当事業年度に設立いたしました新会社2社をご紹介いたします。

### ① 日工ダイヤクリート株式会社

日工ダイヤクリート株式会社は、平成18年8月8日 三菱重工業株式会社下関造船所のコンクリートポンプ事業を譲り受けるため、山口県下関市に設立いたしました。



コンクリートポンプ車  
「DC-L1100BD-M33」

コンクリートポンプ車及びコンクリート圧送技術を応用した泥土圧送装置等の設計・製造・販売・メンテナンス及び部品販売を主な事業として、平成18年10月1日より営業を開始致しました。

「人に、社会に、環境に、我々が関係する全てに貢献できる会社になりたい。そして、新しい価値を求めて前進します。」を基本理念とし、承継したコンクリートポンプ車の高い技術力・製品開発力を生かし、顧客満足度の高い製品・サービスの提供により、国内のみならず海外への事業展開にも努めてまいります。日工グループにとって新しい分野であるコンクリートポンプ事業にご期待ください。



コンクリートポンプ車  
「DC-SL1100BD-M26」

### ② 日工（タイランド）株式会社

日工（タイランド）株式会社は、平成18年6月14日 アスファルトプラント及びコンクリートプラントの東南アジア市場における販売拠点として、タイ王国バンコク市に設立し、平成18年8月1日より営業を開始いたしました。東南アジアには、中古プラントが日本から多く輸出されており、タイにおきましても現在200台以上の当社製アスファルトプラントが稼働しております。経済成長の発展とともにインフラ整備が進んでいる市場の主要拠点として、東南アジア市場の開拓に取り組んでおります。



発展するバンコク市街地

## 連結貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>	<b>36,515,222</b>	<b>負 債 の 部</b>	<b>11,378,753</b>
流動資産	19,802,831	流动負債	8,316,447
現金及び預金	4,502,368	支払手形及び買掛金	3,367,296
受取手形及び売掛金	11,081,745	短期借入金	1,653,088
有価証券	268,452	その他の	3,296,062
たな卸資産	3,255,742	固定負債	3,062,305
繰延税金資産	207,921	長期借入金	187,840
その他の	523,449	繰延税金負債	308,792
貸倒引当金	△ 36,849	退職給付引当金	2,137,939
固定資産	16,712,391	その他の	427,732
有形固定資産	3,660,648	純資産の部	25,136,468
建物及び構築物	1,319,892	株主資本	23,749,162
機械装置及び運搬具	591,869	資本金	9,197,607
土地	1,133,067	資本剰余金	7,808,463
その他の	615,818	利益剰余金	6,801,298
無形固定資産	455,246	自己株式	△ 58,207
投資その他の資産	12,596,496	評価・換算差額等	1,386,453
投資有価証券	8,929,825	その他有価証券評価差額金	1,281,992
繰延税金資産	923,320	為替換算調整勘定	104,461
その他の	2,913,799	少數株主持分	851
貸倒引当金	△ 170,449	負債・純資産合計	36,515,222
<b>資 産 合 計</b>	<b>36,515,222</b>		

## 連結損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	25,035,092
売 上 原 価	19,551,054
売 上 総 利 益	5,484,038
販売費及び一般管理費	5,212,385
営 業 利 益	271,652
営 業 外 収 益	473,468
営 業 外 費 用	45,562
経 常 利 益	699,558
特 別 利 益	84,016
特 別 損 失	450
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	783,125
法人税、住民税及び事業税	426,324
法 人 税 等 調 整 額	46,558
少 数 株 主 損 失	5,677
当 期 純 利 益	315,919

## 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等		少 数 株 主 分	純 資 產 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定		
平成18年3月31日 残高	9,197,607	7,808,463	6,742,155	△ 53,864	1,926,293	38,561	—	25,659,218
連結会計年度中の変動額								
剩 余 金 の 配 当			△ 252,076					△ 252,076
役 員 賞 与			△ 4,700					△ 4,700
当 期 純 利 益			315,919					315,919
自 己 株 式 の 取 得				△ 4,343				△ 4,343
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△ 644,301	65,899	851	△ 577,549
連結会計年度中の変動額合計	—	—	59,142	△ 4,343	△ 644,301	65,899	851	△ 522,749
平成19年3月31日 残高	9,197,607	7,808,463	6,801,298	△ 58,207	1,281,992	104,461	851	25,136,468

(注)役員賞与はすべて子会社分です。

## 個別貸借対照表

(平成19年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>	<b>33,491,839</b>	<b>負債の部</b>	<b>8,700,488</b>
流動資産	15,803,365	流动負債	6,171,739
現金及び預金	3,140,685	支払手形及び買掛金	2,258,372
受取手形及び売掛金	9,507,228	短期借入金	1,100,610
有価証券	268,452	その他の	2,812,756
たな卸資産	1,547,005	固定負債	2,528,749
その他の	1,359,007	退職給付引当金	2,067,952
貸倒引当金	△ 19,014	その他の	460,797
固定資産	17,688,473	<b>純資産の部</b>	<b>24,791,350</b>
有形固定資産	2,446,003	株主資本	23,511,059
建物及び構築物	1,078,715	資本金	9,197,607
機械装置及び運搬具	312,441	資本剰余金	7,808,463
土地	883,539	利益剰余金	6,563,195
その他の	171,307	利益準備金	849,758
無形固定資産	173,579	任意積立金	4,928,583
投資その他の資産	15,068,890	繰越利益剰余金	784,854
投資有価証券	8,918,091	自己株式	△ 58,207
その他の	6,321,247	評価・換算差額等	1,280,290
貸倒引当金	△ 170,449	その他有価証券評価差額金	1,280,290
<b>資産合計</b>	<b>33,491,839</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>33,491,839</b>

## 個別損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	20,242,904
売 上 原 価	16,267,116
売 上 総 利 益	3,975,788
販売費及び一般管理費	3,844,623
営 業 利 益	131,164
営 業 外 収 益	488,306
営 業 外 費 用	32,056
経 常 利 益	587,414
特 別 利 益	83,483
特 別 損 失	450
税 引 前 当 期 純 利 益	670,447
法人税、住民税及び事業税	257,963
法 人 税 等 調 整 額	62,008
当 期 純 利 益	350,475

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 646,792
投資活動によるキャッシュ・フロー	90,209
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	54,960
現金及び現金同等物の増減額	△ 294,492
現金及び現金同等物の期首残高	4,619,861
現金及び現金同等物の期末残高	4,325,368

## 役 員

(平成19年3月31日現在)

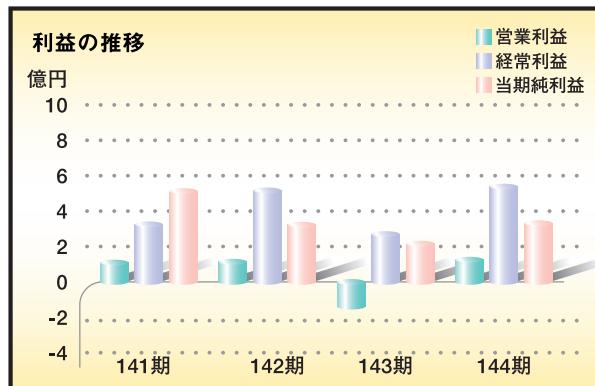
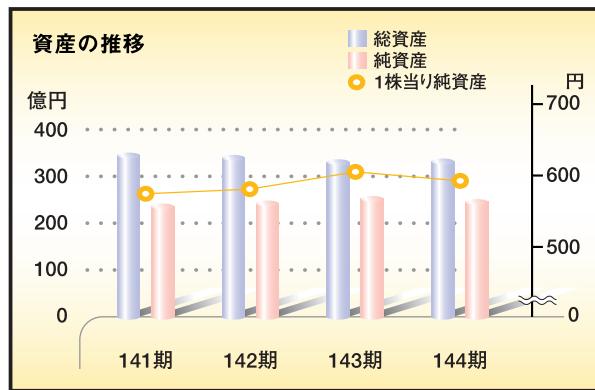
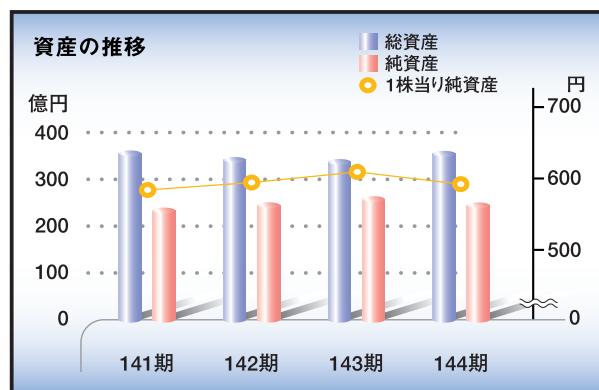
取 締 役 (代表取締役)	岸	勝
専務取締役	山	啓
常務取締役	深	彦
常務取締役	伊	肇
取 締 役	岡	三
取 締 役	梅	視
常勤監査役	福	一
常勤監査役	嶋	巧
社外監査役	磯	行
社外監査役	安	郎
社外監査役	田	二
	松	文

# 業績の推移

〈連 結〉



〈単 独〉



# 株式の状況

## 株式数

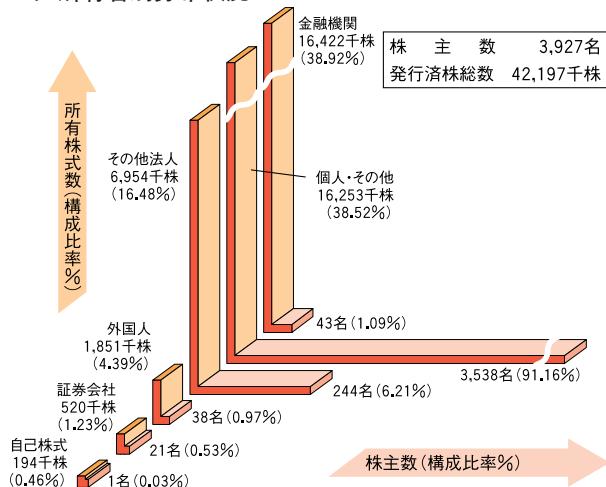
発行する株式の総数	175,532千株
発行済株式の総数	42,197千株
1. 当期末株主数	3,927名
2. 名義書換状況 (平成18年4月1日から) 名義書換件数	468件
名義書換株式数	6,988千株

## 3. 大株主

株主名	持株数	出資比率
日工取引先持株会	3,814千株	9.08%
日工社員持株会	2,497	5.94
日本生命保険相互会社	1,966	4.68
株式会社三井住友銀行	1,909	4.54
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,523	3.63
住友生命保険相互会社	1,331	3.17
株式会社りそな銀行	1,258	3.00
株式会社みとむ銀行	1,230	2.93
日新火災海上保険株式会社	1,197	2.85
明治安田生命保険相互会社	1,156	2.75

(注) 持株数は千株未満、出資比率は自己株式を除いた発行済株式総数で除して算出し、小数第3位を四捨五入して表示しております。

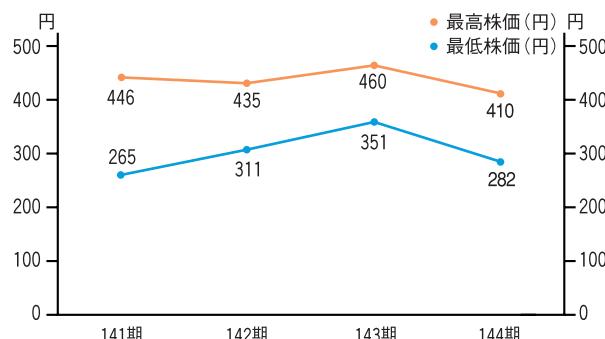
## 4. 所有者別分布状況



## 5. 所有数別分布状況

区分	株主数		株式数	
	人數(名)	構成比(%)	株式数(千株)	構成比(%)
1単元未満	715	18.21	135	0.32
1単元以上	2,567	65.37	4,087	9.69
5単元以上	337	8.58	2,067	4.90
10単元以上	225	5.73	3,999	9.48
50単元以上	28	0.71	1,873	4.44
100単元以上	37	0.94	6,795	16.10
500単元以上	8	0.20	5,356	12.69
1,000単元以上	10	0.25	17,882	42.38
5,000単元以上	0	0.00	0	0.00
(合計)	3,927	100.00	42,197	100.00

## 6. 事業年度別最高・最低株価



(注) 株価は東京証券取引所市場第一部のものです。

## 7. 事業年度別株式数の推移

	第141期	第142期	第143期	第144期
発行済株式数(千株)	42,197	42,197	42,197	42,197
保有株式数(千株)	680	291	182	194

\* 保有株式数は、単元未満株式買取その他による保有。

(注) 株式数は千株未満を切り捨て、構成比は小数第3位を四捨五入して表示しています。

株主メモ

決 算 期	3月31日
定時株主総会	6月中
基 準 日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

公 告 方 法 電子公告

公告掲載インターネットアドレス : [http://  
www.nikko-net.co.jp/denshikoukoku/](http://www.nikko-net.co.jp/denshikoukoku/)

## 上場証券取引所 東京証券取引所 (第一部) 大阪証券取引所

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。  
電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)  
インターネットホームページ<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

日工株式会社

〒674-8585 兵庫県明石市大久保町江井島1013番地の1 ☎(078)947-3131(代)

目工株式会社

- |                   |                                    |
|-------------------|------------------------------------|
| ■本社及び本社工場         | 明石市大久保町江井島1013番地の1                 |
| ■東京本社             | 東京都千代田区岩本町2丁目11番2号 イトーピア岩本町二丁目ビル3F |
| ■大阪支社             | 大阪市東淀川区東中島1丁目19番4号 新大阪東口ビル         |
| ■北海道支店            | 札幌市北区北7条西1丁目1番地2 S E山京ビル12F        |
| ■東北支店             | 仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル3F       |
| ■中部支店             | 名古屋市名東区上社1丁目1207番地 ロール社東           |
| ■中国支店             | 広島市安佐南区中筋2丁目7番15号 アヴァンセ中筋2F        |
| ■九州支店             | 大野城市筒井1丁目11番28号                    |
| ■東京メンテナンスサービスセンター | 野田市上三ヶ尾259番地                       |
| ■カスタマーサポートセンター    | 明石市大久保町江井島1013番地の1                 |

〒674-8585 ☎ (078)947-3131代  
〒101-0032 ☎ (03)5823-8101代  
〒533-0033 ☎ (06)6323-0561代  
〒060-0807 ☎ (011)737-2207代  
〒980-0021 ☎ (022)266-2601代  
〒465-0025 ☎ (052)776-7101代  
〒731-0122 ☎ (082)830-0777代  
〒816-0931 ☎ (092)574-6211代  
〒278-0013 ☎ (04)7122-4611代  
〒674-8585 ☎ (078)947-0302代

目工グループ

- |                 |                            |
|-----------------|----------------------------|
| ■日工電子工業(株)      | 長岡京市神足橋本5番地                |
| ■日工マシナリー(株)     | 野田市上三ヶ尾259番地               |
| ■日工興産(株)        | 明石市大久保町江井島1013番地の2         |
| ■日工セック(株)       | 野田市上三ヶ尾259番地               |
| ■トンボ工業(株)       | 明石市観町3丁目12番51号             |
| ■日工ダイヤクリート(株)   | 下関市長府扇町8番33号               |
| ■日工(上海)工程機械有限公司 | 上海市嘉定区勝辛路1156号             |
| ■日工(タイランド)(株)   | バンコク市サトーン区ヤンナワー町南サトーン通り889 |

〒617-0833 ☎(075)954-5101(代)  
〒278-0013 ☎(04)7125-1311(代)  
〒674-0064 ☎(078)947-5340(代)  
〒278-0013 ☎(04)7125-8301(代)  
〒673-0028 ☎(078)923-6395(代)  
〒752-0927 ☎(0832)49-2650(代)  
☎+86-(0)21-6196-9135(代)  
☎+66-(0)2672-3884(代)

